

# 岐阜市が「SDGs未来都市」に 選定されました！

5月21日、国の「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に、岐阜市の提案が選定されました。岐阜県下において、「SDGs未来都市」は昨年度の岐阜県に続いての選定、「自治体SDGsモデル事業」は初の選定です。

## ◆SDGsとは

SDGsは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」を略した言葉で、2030年までに持続可能な社会を実現するための世界共通の17の目標です。2015年9月に全193の国連加盟国の合意によって決められました。



## ◆「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」とは

内閣府は、2018年度から毎年度、自治体によるSDGs達成に向けた取組の中で優れたものを「SDGs未来都市」、さらにその中でも特に先導的な取組を「自治体SDGsモデル事業」として、それぞれ選定しています。

## 山水と都市が融合したヘルスツーリズムの推進

岐阜市の自治体SDGsモデル事業は「山水と都市が育むWell-beingなライフスタイル創造」がテーマ。金華山や長良川などの自然と、柳ヶ瀬商店街などのまちなかの資源を活かした「都市型クアオルト健康ウォーキング」を核として、「ヘルスツーリズム」を推進しています。

こうした取組により、市民や来訪者の健康寿命の延伸、自然環境保全意識の向上、市内経済の活性化を図るとともに、市民の地域への誇りであるシビックプライドとWell-being（身体・精神・社会的に良好な状態）の向上を目指します。こうした取組を通じ、次に示す社会・環境・経済の三側面のSDGsを推進します。

今回の選定は、岐阜市が市民、民間企業など、さまざまな方とのパートナーシップに支えられて取り組んでいることが評価されたものです。今後、岐阜市は、これを弾みとし、持続可能な都市の実現に向け、SDGsの取組をより一層、推進していきます。



## 岐阜市の自治体SDGsモデル事業

### 山水と都市を歩く 都市型クアオルト®健康ウォーキング

運動不足  
解消

自然保護  
意識



金華山や百々ヶ峰、長良川など自然の中を歩いて健康に。



市内消費  
増加

柳ヶ瀬商店街などまちなか歩きによるにぎわいの創出も。



SDGs未来都市選定証

※ 詳細はこちら →

